



脱毛治療説明用紙

COVID-19などの原因による脱毛治療

#ミノキシジル - 外用 -

男性型脱毛症：5%ミノキシジル
女性型脱毛症：1%ミノキシジル

男性用 女性用

#フィナステリド/デュタステリド - 内服 -

男性型脱毛症：フィナステリド5mg/1錠
女性型脱毛症：デュタステリド0.5mg/1錠

嗅覚障害治療説明

風邪やCOVID-19などの原因による嗅覚障害の治療

症状持続期間	嗅覚障害	味覚障害
1-4週間	25.1%	16.8%
5-8週間	29.7%	31.5%
9-14週間	31.2%	34.4%
>14週間	14.0%	17.3%

#漢方治療

#ステロイド点鼻法

#嗅覚刺激法

1日2回 4つの強い臭い10秒

A SET: パニラ、クローブ、レモン、ユーカリ

B SET: パニラ、ココナッツ、パイナップル、温布薬

各治療法説明書の一部を抜粋



集約したうえで、臓器別の検査が必要かを見極めます」(永田院長)

また、約2年前から新型コロナウイルスに関係なく、海外論文で報告されている「嗅覚刺激療法」という4種類の香りを1日2回、10秒ずつ吸う治療法なども取り入れている。「報告されてわかっていないことを、『まだはっきりしていない』と切り捨てるのではなく、『こういう報告や治療法もある』とお伝えし、焦らずやれることをともにやっていく形で患者さんを見放さない、見捨てない。そうした意識が、後遺症外来では大切だと感じています」と、永田院長は説明する。

そのため、本人の症状と状況、不安などを聞くカウンセリングと問診を重視し、そのうえで必要な検査や治療の提案を話していく。初診時は準備に1時間、診察に1

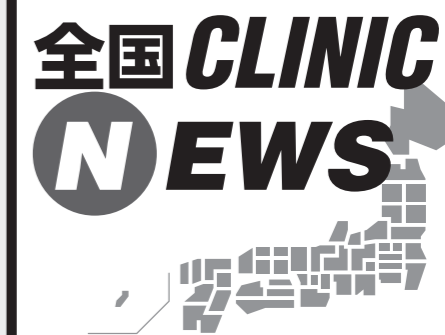
時間と、丁寧に行っている。

第6波の感染爆発で後遺症患者も増えると予想されるなか、同院では今後、再診以降はオンライン診療にも対応していくことも視野に入れている。そして、後遺症患者がこれ以上迷子にならないよう、コロナ感染後遺症外来を実施する医療機関が増えていくことを願っていると、永田院長は話す。

「06年より、感染症予備校として、『感染症倶楽部』を開設し、Facebookでの登録制勉強会グループなども開設し、約4500人が登録され、さまざまな感染症診療に関する学びの場の提供をしています。新型コロナウイルスの後遺症は多岐にわたり、総合診療や漢方診療などにも精通する必要性があります。互いに『学びのシェア』をしながら、ともに取り組んでもら



関東ブロック



北信越ブロック

地方では数少ない
コロナ感染後遺症外来

●ながたクリニック(石川県加賀市)

ながたクリニック(永田理希院長)では、2021年4月から「コロナ感染後遺症外来」に取り組んでいる。

永田院長は、「新型コロナウイルス患者は、退院時に咳や倦怠感などの症状が残っていても『しばらく様子を見てください』と言われることが多く、また石川県で感染が拡大し始めた当時は、コロナというだけで偏見をもたれ、後遺症でも受診できずたらい回しになるケースも少なくありませんでした。職場や家族の理解もなくつらい思いをされていた方が多く、当院が受診できると知ると驚かれたり、泣き崩れた方もいました。こうしたニーズはこれからも増えていくだろうと、21年4月から『後遺症外来』と明確にホームページへ掲載を始めました」と、振り返る。

開設当初は週1人程度だったが、第5波の感染者増以降、昨年9月には毎日後遺症患者が訪れる

ようになり、県外からの受診も増えたという。症状としては「倦怠感」が一番多く、ほかには「食欲低下」「不眠症」「咳」「味覚障害」「嗅覚障害」「脱毛」などがある。新型コロナウイルスからの回復直後から症状がある人もいれば、感染後2〜3ヵ月後に現れる人まで、後遺症の発症時期はさまざまだという。

ともに寄り添い続けることが
後遺症外来の肝要

治療にあたっては、患者が納得いくまで丁寧に一つひとつわかりやすく説明しながら、患者の想いを聞いたうえで進めていく。症状への理解が深まるように、よくある症状に関しては「脱毛治療説明書」「嗅覚障害治療説明書」などを配布するほか、パターンの決まっていない症状についても様子を見ながら適切な治療法を探っていく。また、漢方療法もすすめているという。

「漢方はいろいろな症状をカバーでき、患者さんの症状に応じた漢方を選択します。それ以外に、MRIやCT等が必要と判断すれば臓器別専門医と連携し対応しています。とはいえ、過剰検査にならないように、事前に十分な情報を

中部ブロック

える仲間が増えていってほしいと考えています。目の前の患者さんを迷子にさせないという使命感が原動力になっています」